

AJU麦の会&麦の里ニュース

第 126 号 令和4 (2022) 年 8 月 9 日発行

定価 100 円



発行所・東海身体障害者団体定期刊行物協会

中区丸の内三ー六一四三

みこころセンター4F

定価一〇〇円

令和四年八月九日 (毎週火曜日発行)

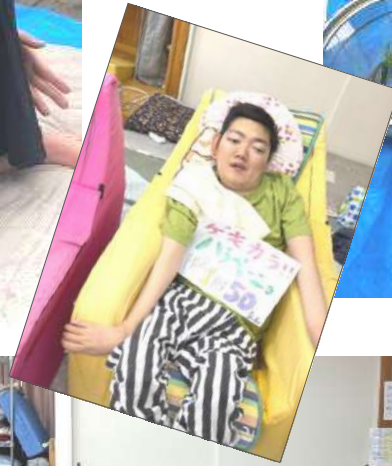
AJU通巻

増刊第一四六一八号

昭和五十四年八月一日第三種郵便物承認



なつ
夏



(お母さんたち、野菜買って行って～!!)

麦の里のスロープで、今年も野菜が実っています。ネギ、ゴーヤ、プチトマト、カボチャにインゲン豆・・・出来た野菜に値段を決めて、夕方に職員さんが買って行ったりします。

また今回、お母様方にも買って頂きました。

日々スロープを歩きながら、野菜が実ているのを発見するのは楽しいです。そして毎日の水やり、そして収穫の時は、仲間たちも笑顔に。夏ならではの、楽しいひと時です。

暑い夏もこれから。まだまだ、採れるかな。



～5月7日(土)例会活動～

☆ (Aグループ)カラオケ

5月の例会は、「Aグループのカラオケ」をしました。作業室をカラオケルームとして設置して取り組みました。1人4曲を事前に希望を出してもらいパソコンとTVを繋げてユーチューブでカラオケを流し、マイクで歌いました。時間としては余裕ができて、みんなに何歌いたい?と聞くと、ポンポン出てきます。結局、1人5曲ほど歌いました。前は、お疲れ気味になりましたが、今回はみんな張り切ってどんどん歌っていました。逆に「もっと～」と聞こえてくるくらい!! 勢いのあるカラオケとなりました。

仲間たちと一緒に僕自身も歌っていました。歌っている時の仲間たちの真剣な表情、楽しんでる中で僕自身も楽しいカラオケとなりました。仲間たちもこのスタイルのカラオケに慣れたなと感じました。また、来年も楽しみにしています。

ムラ



☆ (Bグループ)トランポリン

企画書から提出をするという、例会が更に新しい形となりました。今までは仲間の希望をとって計画した1年の活動に向かって、この仲間は、どの職員とどうそれに向かって有意義に取り組めるかを考えるというシンプルな流れでした。ですが、その活動に対して、何をねらいとして、仲間個人がそれに対してどのように過ごし、職員がどのようにサポートするのか、また時間の配分はもちろんです。準備はどのように、誰が誰とするのか等、事前の職員の動きまで考えるようにと稲垣副施設長からご指導を受けました。実際にやってみると、私にとって初めての試みでしたが更に頭の中で展開して、企画することが出来ました。

迎えた当日、室内でのトランポリン。いくつかの種類トランポリンを用意して皆で飛び跳ねたり、全体で揺れたり楽しく過ごせたと思います。週5連動を終えて仲間職員一同は、明日は休みだぞ!といわんばかりに最後の体力を振り絞って土曜の午後に皆で跳ねていました。やはり仕事だけではなく、遊びを取り入れた活動でコミュニケーションを取ることは大切ですね。それでも企画

する側としてはいろいろと必死で、配慮しながらですが。仲間、職員の動きを事前に伝えていても中々計画通りにはいかない。仲間がどこかに飛び出し、それを職員が追いかける。「トランポリンやらない！」と言ってテラスのベンチで寝そべり過ごす。それに付き合い、そこで一緒に過ごすのも大有ですね。

いずれにせよ、例会が更に充実した活動となりますよう職員は取り組んでおりますので、仲間の皆さん、是非一人でも多くのご参加をさせていただきたく思います。
(古謝)



☆ (療護グループ)育てる係準備

作物を育てよう

療護の仲間と「野菜や花を育てたら楽しいよね」と職員より、「やりたい」と強い意気込みがあり新たなチャレンジをすることになりました。

例会の当日では、苗を買いに行くグループと土や容器を用意するグループに分かれ活動を開始しました。外出先では「美味しいのいいね」と仲間職員と真剣に考え購入してくれ、良い苗をゲット!!土づくりでは、暑い中休憩をはさみつつなんとか用意をしました。植えたのは「アサガオ」「獅子唐」「唐辛子」「サツマイモ」と4種類。仲間と協力して朝の時間に毎日水やりを行い、アサガオの種を12個まいた内、4つ発芽してくれました!!

今では職員の高さまでツルが伸びて、綺麗な2色のアサガオが咲いてくれました。(北村)



(ちょっと療護のお昼寝風景)



朝顔がいっぱい咲いて、
きれいだね！！

野菜のほうでは、収穫し販売までの活動が行えています。1回のみですが水曜日の午前にお母さん達の集まりに合わせ『水曜日』も開催しました。実際に販売している所を見てもらえ仲間もいい刺激になったと思います。また、外での活動が増え青空の下でいい園芸活動ができてきています。 (北村)



～6月4日(土)例会活動～

☆ (Aグループ)オムライス作り

今回はKさんの要望によりオムライス作りになりました。自分の分だけでなく「他の人の分までご飯を作って食べてもらおう」をコンセプトに取り組みました。

私自身10名分のオムライスを作るのは初めてで材料を買うところからどうやってみんなで作っていけばいいか正直悩みました。パンの作業で包丁を使い慣れている仲間もいれば包丁なんて初めて握る仲間もいたり・・・やってみないことには！精神で今回も失敗覚悟の上挑みました。包丁を使った事がないであろう仲間にはスケッパーを使って材料を切ってもらいました。躊躇することなくとても楽しそうに切っていました。10人前のチキン



ライスホットプレートで炒め、オムライス用のたまごは一人前ずつフライパンで焼き後乗せ。この卵が難しい！！失敗しつつも果敢に挑戦してくれました。一方、言い出しっぺのKさんは早々にオムライスを作り上げ、ケチャップでカービーを描きあげ満足気にしておりました。他にサラダとスープを作ってみんなで食卓を囲みました。

これが美味しいあれが美味しい、〇〇さんの作ったものが美味しいなどと、それぞれお互いにたたえあっていました。

(三好)

☆ (Bグループ)カラオケ



七麦と作業室に分かれてカラオケを楽しみました。

それぞれ歌いたい曲を事前に用意してきて歌いました。

作業室グループは今回、職員も一曲。感激して泣き出した仲間も。

またやろう！！ (日比野)

カラオケ大好き！



☆(療護グループ)室内スポーツ

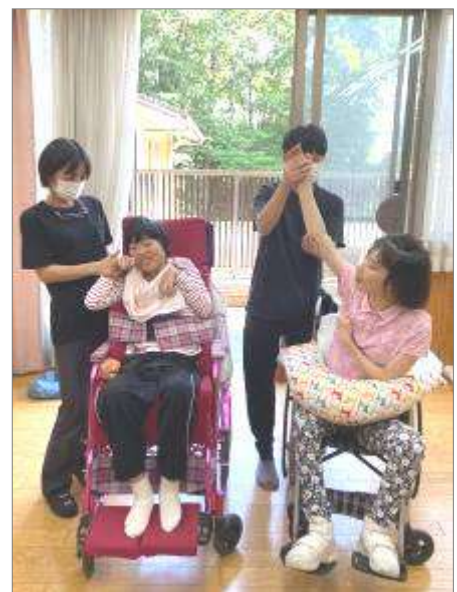
午前中は午後のスポーツの予行練習。曲を聞いたり踊ったりしました。午後からは本番。①チェッコリの曲で玉入れ ②車イスサッカー ③フォークダンスをしました。仲間職員もくじを引いて、チーム分けをしました。玉入れは曲に合わせて車イスダン

スをし、曲が終わったら玉入れ、曲が変わったらまたダンスをし、を数回繰り返し、ワイワイ、キャーキャー。玉が入らないから近くまで行って入れたりと楽しみました。

車イスサッカー、サッカーはフットレストにボールがはまってしまい、なかなか上手く蹴れませんでした。職員は車イスを忙しく動かし、汗をかきました。

最後はフォークダンス。昨年から予定していて出来なかったフォークダンスを取り入れました。円になって車イスを押して職員が入れ替わり「こんにちは」と言いながら踊りました。みんなニコニコ楽しい時間でした。職員、仲間、たくさん動き、ハードな一日を過ごしました。

(川口)



～七色の麦の日常風景～

今日はSさんのお誕生日。食事の後の「のんびり」時間にSさんのお誕生日を祝いました。チラシを切った紙吹雪を用意してみんなで「Sさぁん!!」。そして登場したSさんにみんなで紙吹雪をかけました。とても嬉しそうなSさんは、手紙を用いてきて読んでくれて、しみり。よい時間になりました。

良い歳となるといいですね。Sさん、お誕生日、おめでとうございます。
(日比野)



～森へと続く道～ 思い出話しに花を咲かせよう

記憶。私もいよいよ50歳となった最近。あれ、それ、と名詞が出てこなかったり、ちょっと会ってなかった人の名前が咄嗟に出てこなかったりと。忘却という名の自然の摂理の恩恵を賜っている。忘れるということも悪いことばかりではない。最近では、人生の思い出の1ページが増えるごとに、それが良いことばかりではない分、忘れるということも優しい神の恩恵だという気がしてきた。しかし、だ。そうだとばかりは言うてはいられまい。認知症になったら一体全体どうしよう、とヒヤッとするのは、自分だけではないだろう。

嘗て私は「回想法」の仕事をしていた。昭和の小学校を連想する建物に入ると、古い香りが漂う。オルガン、足踏みミシン、お手玉、メンコと、沢山の懐かしいものが所狭しと置いてある。軋む床の音を聞きながら歩く。懐かしいものを見たり触れたりすることで、それを1つのきっかけとして昔のことが思い出される仕組み。昨日食べたものは忘れても、昔の記憶は案外残っているもの。そこを思い出すことで、認知症の予防、改善をするのが回想法だ。思い出話しに花を咲かせると、人の灰色の過去の記憶が一瞬光を放って蘇る。そんな終わった過去の記憶が息を吹き返す様を沢山見た。自称、「思い出させ屋」と当時私は思い出ばかり聴いている自分をそう呼んでいた。

思い出す人生のページが少ない若者よりも、1冊の自伝の出来上がりそうなページ数を持った年齢の方のほうが、語ることが沢山あるのは勿論のこと。自分の人生をしっかりと思い出すことは、認知症の改善のみならず、今を生き、今後をどう生きるのか、という方向づけに繋がる。生き抜いてここまで来た自身の人生への誇りにも繋がるものだと、先輩方の回想を通じて感じたものだ。

さてあなたは子供のころの夏の日、故郷で川遊びをしましたか。そこはどの様な川でしたか。何を着て誰と何をして遊びましたか。それとも放課後、道端で何をして遊びましたか。

一度、思い出話しに花を咲かせてみませんか。
(日比野)

仲間紹介

かじたみのり 梶田実里さん

実里さんは「とびっきり」の笑顔が素敵な、Bグループの仲間です。毎日、Bグループでの仕事に喜びと責任を持って向かい、生き活きと活動される姿は本当に素晴らしい。大好きな外の作業へ行くときは「行ってきまあーす!!」と大きな声であいさつをされ、その声の明るさは一度皆さんにお聞かせしたいほど。そして何より、実里さんはとっても想像力豊かでお話が好き。一緒にお食事をすれば、近くの職員が何を食べているのかを匂いで当てたり、作業の中でぼかしを袋詰めするときには「ぴったり賞」を狙って、感覚で必要なグラムをぴったり詰めたり。いつも一つ一つの日常を大切に感性豊かにそして真剣に、楽しくこなしていられる姿に教わることが多いです。

また、実里さんは素晴らしい記憶の持ち主。説明を良く聞いていて、細かいところまできちんと覚えているので、何でも実里さんに聞けば分かります。

そんな実里さんには職員さんに甘えたくて、出来ることが、実は何故だか出来なくなってしまう大変可愛い一面もあるとのこと。これからも、日々のささやかな小さなことでも、楽しく一緒に見つけて共に成長していけたらいいですね。



職員紹介

ありかわ 有川 美代子さん

有川さんは、今年の2月より朝サポーターとして、七色の麦を支えてくださっています。七色の麦は「ゆったりとしていて、いい所」とおっしゃっていました。

有川さんのお話は、日々ユニークで、前向きで若々しく、聞いていていつも笑顔になります。そして瀬戸生まれの瀬戸育ち。

今は自慢の息子さんとお孫さんと暮らされています。「いつまでも美しく、元気で健康」でいたい、となりたい人物像をお聞きすると答えられていました。今はコロナで出来ないけれど、趣味は社交ダンス。これからも有川さんにお会いしては、楽しい話が聞けることを楽しみにしています。



職員のつぶやき

こんにちは。長屋です。

以前から機関紙の作業をAグループの仲間をお願いしていました。ゆっくりじっくりと何度も繰り返してくれました。徐々に上手にしてくれてとてもがんばっていました。ニュースを折る。封筒に入れる。のりをつける。そしてとじる仕事をいろんな仲間と仕上げてくれています。新しい仲間は少しずつ増えてくれ、作業を覚えるようになりました。その中でBグループの仲間は主にチラシ折りを楽しんで作業してくれています。1～10の工程を仲間達で完成お願いしました。仲間の楽しい内容の話。職員が気合を入れて文章を書いたり、日々の大事な報告とかとか…なども!!皆様に読んでいただく事はとても大切なものばかり…。そしてAグループ、Bグループが仕上げる機関紙【麦の里&麦の里ニュース】は、とってもすばらしい機関紙なんですよ～。(長屋)



◎青色の麦で大切にしていること◎

～仲間自身が、主人公として生活できるように～

ホームの朝のことです。目が見えないせいか、ラジオを聞くのが大好きなM君が、ラジオを切れずに顔を洗いに行けません。せかすと逆効果なので、楽しくそのラジオと一緒に聞いていると、「今日の朝ご飯は？」と聞いてきます。「今、SさんとY君が準備してくれているよ」と答えつつ、様子を見ます。楽しいラジオにきりをつけて、朝の支度を始めないといけないと思っているのがわかります。だから、朝の準備で職員が急いでいる様子を伝えるのはやめて、じっと待っている事にしました。やがて、番組の切れ目で自分からスイッチを切って立ち上がり、「トイレとひげそり」と宣言して動き出してくれました。

送迎車が来ました。K君が車の手前で立ち止まります。「K君乗ろうか」といつもの声掛けをしようとして、彼の足が前後に行ったり来たりしているのが見えます。これなら少し待てば自分から乗ってくれるかと判断して、声掛けを止めて待ってみました。やがてK君は自分から車に乗りこみ、「車、乗った」と報告してくれます。「ありがとう、いってらっしゃい」と、笑って言えました。

生活の場面では、仲間たちは実に多くのことを身につけてきています。たとえ障害程度区分6の最重度の仲間であっても、みんな同じです。「生活の主人公」として、「自分で生活している」のです。そのことを、単調なホームの生活だからこそ、日々実感することができます。

職員が「もう寝ようか」と言わなくても、夜の過ごし方として、やりたいことがいろいろあっても、「夜は寝るもの」ということは身に付いています。だから、「ベッドでラジオを聞いてくれる？」と聞けば、先ほどのM君は、楽しい遊びやテレビにきりをつけて、自分からベッドに入れます。

「せかさない」「命令しない」「本人の生活リズムを信じて、待つ」ことで、職員の誘導ではなく、自分で生活していってくれるようになることを青色の麦では大切にしたいと思っています。

(稲垣)

☆ お楽しみコーナー ☆

★クロスワードパズル

| | | | | | | |
|---|---|---|---|----|---|---|
| 1 | D | | 9 | C | 3 | |
| 5 | | 2 | | | | |
| 6 | | | | 10 | 4 | B |
| | 7 | | E | | | |
| 8 | | | | 11 | A | |

タテのヒント

1. おもちをあぶったお菓子を何という？
2. 皆から募って、人や物を集める事を何という？
3. 大豆を発芽させた野菜を何という？
4. 王様のことを英語で何という？

ヨコのヒント

5. 煮物やスープに入れると美味しい、漢字で「南瓜」書く野菜は？
6. 将棋を仕事としている人の事を何と言う？
7. 漢字で「百合」と書く植物は？
8. 「犬も歩けば〇〇に当たる」。〇〇に入る言葉は？
9. 「☆☆☆ならべ」「☆☆☆ごはん」。☆☆☆に共通する言葉は？
10. 春夏秋冬の事を何と言う？
11. たんすや机、椅子など家に置く物を総称して何と言う？

☆キーワード☆

A~Eをつなげてみてね！

A B C D E

お礼のコーナー 〈敬称略 順不同〉

◆◆麦の会の会員・賛助会員の更新をして頂いた方 ◆◆

会員更新：芦原貴大 天野 崇 栗田朋也 伊藤恵梨 内海 彩 加藤真路
加藤芹奈 加藤昌幸 亀谷芳博 河合浩輝 輿石圭介 佐分利 晶 仙石 新
竹田海貴 谷口奈穂 中川健司 中本貴史 浜口元気 松本阿衣子 村上直哉
山田有志 山中勇樹 稲垣 聡 渡邊 覚 渡邊照予

賛助会員更新：伊藤権平 加藤秀磨 久保敷雅美 深谷幸作 深谷徹男
中島 聡 日比野令子

◆◆ 社会福祉法人麦 及び 麦の里へ 寄付金&物品を頂いた方 ◆◆
匿名希望の方 数名

—お詫びとお断り— かわらぬご支援をありがとうございます。

7月12日までにいただいたものを集計しております。掲載もれがないようにチェックしておりますが、もしもお名前がもれている場合にはお知らせ下さい。

小林真代さん(恵里佳さんのお母様)を偲んで

先日、麦の会の物資担当係の母組が、数名で小林さんのお宅に伺いました。

当日は、恵里佳さんと姉妹の3人が出迎えてくれました。いろんな話をしている中で姉妹の仲の良さと、この先、恵里佳さんをしっかり支えていくんだという強い意志を感じました。

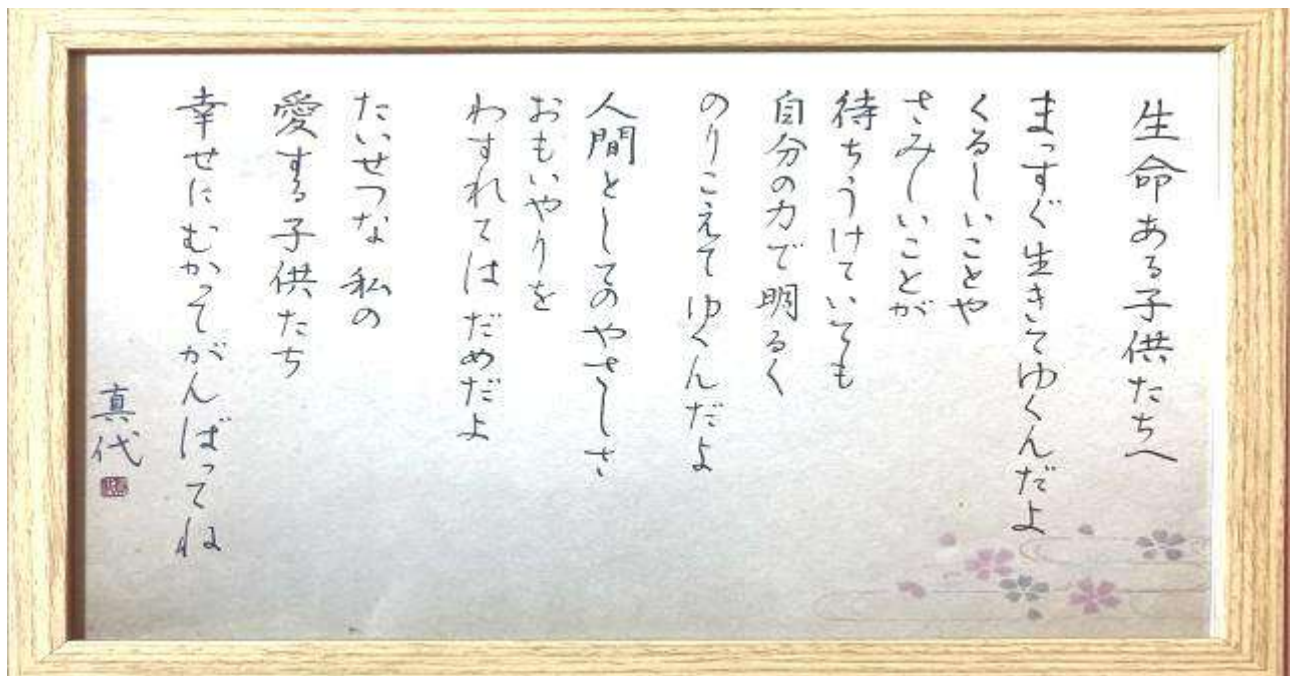
恵里佳さんが麦の里から居なくなって、とても寂しい私たちですが、新しいグループホームで可愛がってもらって、元気になっていると聞き、安心しました。

小林真代さんへ、

ご家族のみなさんは、大丈夫ですよ。

安心して見守っていてね。

(麦の会 母組)



(亡くなる前に、偶然お母様が書かれた真代さんの書)

小林真代さんは、生前、「麦の会」の母組の一員として、『物資販売係』を初め、一時は役員も引き受けられて、麦の里の仲間たちの為に、長く活動をして下さいました。

今年の3月、ご病気で突然逝去され、そして、6月に、娘さんの小林恵里佳さんは、諸事情から自宅の小牧市から近い場所にある、他のグループホームへ移動されました。

真代さんのご葬儀は、ご実家のある三重県で行われた為、麦の会のお母様達は、ほとんどの方が参列できませんでした。そこで、この7月に、数名のお母様たちで、小牧のご自宅へお参りにいかれたそうです。今回は、その時の想いを寄せて頂きました。

その訪問の際に、この【生命ある子供たちへ】を拝見させてもらい、お母様たちは、感無量。

訪問された皆さんで真代さんのことを偲ばれたそうです。

今後の予定

8月

6日(土) 麦の会定例会

『港福祉会磯崎明美氏ミニ講演会』

／麦の里の仲間は半日活动

8日(月) 床屋デー

22日(月) 訪問歯科

27日(土) 麦の会役員会

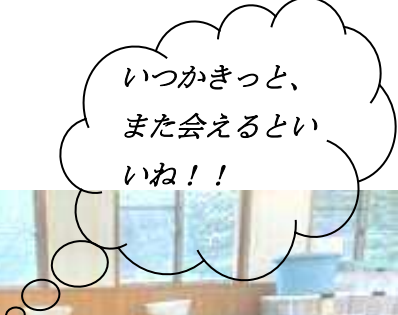
30日(火) 北山廃品

9月

10日(土) せともの祭募金活動／麦の里1日活动

25日(土) 麦の会役員会

27日(火) 北山廃品



**グループホーム職員
& 運転手 大募集!!**
 未経験者、無資格者でも
 OKです。ご興味がある方は
 麦の里まで、ご連絡下さい!

◎◎運転手◎◎
 平日 月～金曜日(月1回土曜有り)
 朝:7時～9時20分／夕:16時～18時
 (どちらかだけでもかまいません。)

◎◎ホーム職員◎◎
 夜勤:16時～10時／早番:7時～10時
 遅番:16時～21時30分
 (時間は相談に応じます。)

♥ 仲間たちの居場所づくりに、
 ぜひ参加して下さい。

夏の物資販売 無事終了
 ☆総額¥2,019,490円の売上でした。
 ☆個人、団体、学校を含め247名の方に
 ご協力していただきました。
 本当にありがとうございました。
 ★シャインマスカットが大好評!!製造が追いつかず、2次販売ではお手元に届くのが遅くなり誠にすみませんでした。
 (物資担当より)

お楽しみコーナーの答え

☆126号☆
 キーワード : 「かきごおり」

障害者とともに歩む **麦の会**
 生活介護事業 **麦の里**
 共同生活援助事業 **七色の麦**

〒480-1214 愛知県瀬戸市上品野町1354-12
 電話(0561)41-4124/FAX(0561)41-3766
 ホームページ : <https://www.mugisato.or.jp/>
 Mail : nakamanowa@mugisato.or.jp

編・集・後・記

機関紙編集の担当者が新メンバーになって4回目の機関紙作成。今回は、編集会議が遅くなり、原稿依頼・編集もそれにつられ、最終の印刷作業が前例にない程遅れました。

関係者のみなさまには、大変に申し訳ないことをしました。次号こそは、進行表どおりに仕上げたいと思います。

渡邊照予